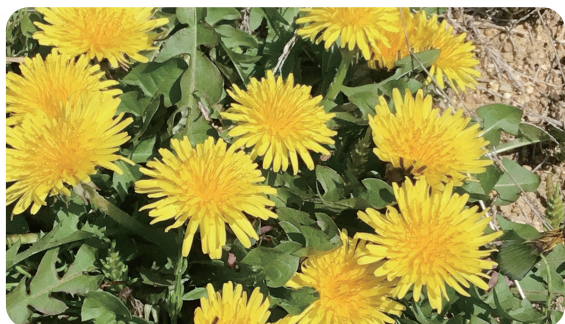
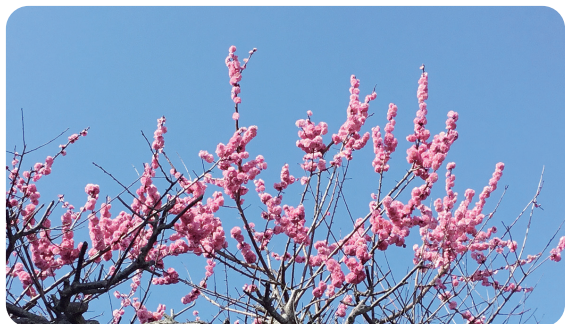


がんまき 議会だより

第108号

令和元年5月1日号



上牧町の里山 百花繚乱

TOPICS

平成31年度予算	2～5
3月定例議会	6～8
議決結果・議会日誌	9
一般質問	10～15
広報委員会特集	16

平成31年度 全予算
可決しました!

予算特別委員会報告

委員長 遠山健太郎 副委員長 康村昌史
委員 堀内英樹、富木つや子、石丸典子、吉中隆昭

3月4日の本会議で設置された予算特別委員会は、上記のメンバーで8日、11日、12日の3日間行われました。

平成31年度の各会計予算を可決

同委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計予算について慎重審議の結果、全委員異議なく、原案通り可決するものと決しました。

なお、これら7会計予算については、3月20日の本会議でも全会一致で可決しました。

一 般 会 計			74億1,630万7千円			
入 る お 金	24億9,069万6千円	地方交付税	予 算 概 要	民生費	24億8,711万1千円	使 う お 金
	21億5,179万6千円	町 税		公債費	13億1,601万8千円	
	7億7,098万1千円	国庫支出金		総務費	9億2,523万2千円	
	5億8,657万1千円	町 債		衛生費	7億8,769万3千円	
	5億1,020万5千円	県支出金		教育費	7億4,718万5千円	
	3億4,599万8千円	地方消費税交付金		土木費	6億4,317万7千円	
	1億9,628万6千円	使用料及び手数料		消防費	3億1,244万6千円	
	8,122万5千円	分担金及び負担金		議会費	1億360万2千円	
	5,711万5千円	繰入金		農林商工業費	6,933万8千円	
	4,780万2千円	地方譲与税		予備費	2,000万円	
	2,323万7千円	配当割交付金		諸支出金	450万3千円	
	1億5,439万5千円	その他※		災害復旧費	2千円	

※その他は、利子交付金・株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金・環境性能割交付金
・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金・財産収入・寄附金・繰越金・諸収入 の合算です。

特 別 会 計 54億7,532万1千円

国民健康保険	25億7,704万9千円
後期高齢者医療	3億5,908万円
介護保険(保険事業勘定)	19億153万6千円
介護保険(介護サービス勘定)	738万7千円
住宅新築資金等貸付事業	153万円
下水道事業	6億2,873万9千円

企 業 会 計 5億3,758万6千円

水道事業 (収益的収入)	5億3,758万6千円
-----------------	-------------



委員会審議の様子

【平成31年度の主な事業】

- ☆町内防犯カメラ設置事業
- ☆子育てママ就業支援事業
- ☆出会い・結婚・子育て応援事業
- ☆病児・病後児保育事業
- ☆道路長寿命化事業
- ☆上牧町放課後塾「まきっ子塾」事業
- ☆人間ドック等費用助成事業
- ☆国際交流事業
- ☆見守りQRコードシール普及事業



一般会計予算

総 括

予算書の仕様変更について

問 議会として、これまで「事業別予算を分かりやすく」との要望を行ってきたが、今回の予算書の仕様変更について説明を。

答 最も大きな改正点は、事業別予算に変更したことにある。加えて担当課の予算執行に使う明細とその財源も明示した。

町長の所信表明について

問 将来の財源の見通しについて。

答 働く世代の方々に、上牧町に定住をして頂く施策をしっかりと取り組む。財政は厳しいが、その中でも若い人たちの定住促進を図るのが我々の使命であると考えている。

歳 入

ふるさと納税の減少分について

問 ふるさと納税による減少分をどの程度見込んでいるのか。

答 約1,900万円見込んでいる。

ふるさと納税
について

康村昌史委員

新たなステージに入ったがん検診の総合
支援事業補助金について

問 女性のがん検診の受診目標は。

答 受診率向上のために、がん推進委員さんの積極的な活動により受診率は増加している。今後は乳がん検診で650名、子宮がん検診で500名を目指したい。

乳幼児等医療費補助金について

問 子どもの医療費は中学卒業まで無料であるが、窓口での立替払いが必要である。改善を求める声が多いがどうか。

答 町として、中学卒業まで立替払いをなくす要望を県にしている段階である。

国際交流事業個人負担金について

問 この負担金は参加学生の保護者負担分だと思うが、一人当たりいくら負担か。この保護者負担をなくすことはできないか。

答 一人当たり54,000円である。受益者負担の観点から自己負担はやむを得ないと考えている。

歳 出

消費税率引き上げに伴う影響について

問 総務省は10月からの消費税率引き上げに伴う影響額の適切な計上を求めているが、どのような影響があったか。

答 10月の増税後、6か月分で約1,000万円を計上している。

新地方公会計の
活用を!!

堀内英樹委員

新地方公会計制度の活用について

問 全庁で「コスト情報の共有」に取り組み、公共施設個別施設計画やライフサイクルコストの判断にも活用すべきだがどうか。

答 新地方公会計制度による財務書類の公表は平成30年度から始めており、財政の効率化と透明化を図るとともに住民への説明責任を果たしていきたい。

町内防犯カメラ設置工事について

問 平成31年度に設置予定の防犯カメラ3箇所の説明を。

答 今年度は今回は教育委員会、警察と協議により通学路3箇所に設置し、最終的に36箇所設置する予定である。

個人番号カードについて

問 通知カードの交付状況はどうか。

答 個人番号カードの延べ交付枚数は、平成31年2月時点で2,717枚であり、総人口の約12%を占めている。

女性のキャリアアップ・社会復帰モデル構築委託料について

問 地方創生の3カ年の補助事業であるが、今後はどう運営していくのか。

答 町の事業としては最終年度だが、ママスクエアのテレワーク事業は存続していく。

乳幼児等医療費について

問 小学生から中学生までの窓口負担の軽減について町の見解は。

答 町だけでは判断できないので周辺自治体や県とも相談をしながら努力したい。

風しん抗体検査負担金について

問 本町での取り組みの説明を。

答 今年度は、昭和47年度から同53年度生まれの男性に通知を郵送する。その後、医療機関検査を受け、抗体価がなければ予防接種を受けていただく。

ごみ処理費のリサイクル推進事業について

問 新たな取り組みの説明を。

答 新聞、雑誌以外の雑がみ(包装紙・パンフレット・お菓子の空箱・コピー用紙など)の回収を始める。全戸に雑がみの保存袋の配布を予定している。



ごみのリサイクル
推進事業について

石丸典子委員

可燃ごみ運搬処理委託料について

問 前年度に比べ1,296万円減額(0.7%減)計上となっているがその理由は。

答 ごみ量は変わっていないが、運搬処理の単価がトンあたり3万2,500円から3万円と安くなったことで減額になっている。

ブロック塀撤去推進事業について

問 国の補正予算では安全確保事業として拡充されるが、上牧町の対応はどうか。

答 北葛城郡4町で平成30、31年度の2年間の措置で補助をする。予算では、10件分の100万円を計上している。

災害用備品の購入について

問 災害時の液体ミルクの導入について町の見解は。

答 賞味期限の短さや価格の点等もあるので、今後の検討課題として考えていきたい。

災害時の液体
ミルク導入は



富木つや子委員

消防団の女性隊員について

問 仕事や高齢化等の様々な理由で、今後女性隊員の確保が難しくなるが町の見解は。

答 これから女性消防団を維持していくために町全体としても考えていかなければならない。近隣でも町全体として募集しているところもあり、今後研究していく。

小学校、中学校給食事業について

問 給食費会計の公会計への移行について町の見解は。

答 平成31年度に調査・研究し、平成32年度に予定している。

上牧第二中学校での工事請負費について

問 上牧第二中学校での工事の説明を。

答 屋根改修工事の本体工事は夏休み中を予定している。他に、鉄棒の入れ替え工事と校舎の防火・防排煙設備改修工事をする。いずれも、騒音対策や衛生面を考慮し、学校等とスケジュールについて協議する。

予備費の増額計上について

問 予備費が2,000万円と前年度の倍額で計上された理由は何か。

答 近年に多発している自然災害や老朽化している公共施設等の突発的な修繕に対応するために、増額計上した。

国民健康保険特別会計

一般被保険者国民健康保険税の減額について

- 問 国民健康保険税が減額となった理由は。
- 答 子どもに係る均等割額、医療分27,600円と支援金分7,200円を減免することと、被保険者が183人減となったため。

健康優良世帯表彰について

- 問 今年度の記念品額が平成30年度の約2倍となっている理由は。
- 答 対象者が平成30年度で5名と少ないので、記念品額をひとり5,000円から1万円に増額して対象者を増やすため。

国民健康保険税の支払方法の追加について

- 問 ペイジー口座振替受付サービスとは。
- 答 役場窓口へ金融機関のキャッシュカードを提出すれば手続きが一日で完了する。

人間ドック等助成金について

- 問 人間ドック等助成金1,200万円の説明を。
- 答 国民健康保険加入者のうち40歳以上75歳未満の人に対して、人間ドック・脳ドックの費用を1人4万円助成するもの。

けんしんGO!ポイント事業について

- 問 けんしんGO!ポイント事業の運用状況の説明を。
- 答 受診者は1,129名、ポイント還元は513名である。今年度から入湯券に加えクオカードや食事券を加え賞品交換の選択肢を増やす。



吉中隆昭委員

介護保険特別会計

介護サービスと介護予防サービス等諸費の増額について

- 問 介護サービス等諸費と介護予防サービス等諸費の増額の説明を。
- 答 介護サービス等諸費については、介護報酬の改定と処遇改善加算が行われ、介護予防等諸費は、介護予防を使われる方が大変多くなった。

包括支援センターの専門職について

- 問 包括支援センターの構成員は。
- 答 社会福祉士・保健師各1名、ケアマネージャー2名、臨時職員1名である。
- 問 保健師等の専門職の確保が課題であり、処遇改善を含めた対応策が必要では。
- 答 専門職の確保は大変難しいところがあり、処遇改善も含めての対応が望まれる。

見守りQRコードシール普及事業について

- 問 見守りQRコードシール普及事業とは。
- 答 認知症の普及活動と徘徊される方の安全確保と早期発見のため、見守りQRコードシール普及事業を実施する。服やカバン、杖などにアイロンで接着し貼付できる小さなシールである。



生活支援体制整備事業について

- 問 生活支援体制整備事業の説明を。
- 答 生活支援サポーターは24名で、高齢者の買い物・草取り・衣類の入れ替え・電球交換・大型のゴミだし等を行っている。運営は社会福祉協議会に委託している。

介護給付費準備基金積立金について

- 問 介護給付費準備基金の活用方針は。
- 答 2020年度もこの基金を取り崩し、現状の介護保険料を維持したい。

下水道事業特別会計

- 問 下水道使用料が約270万円の増額となった要因は。
- 答 片岡台1丁目などで新築住宅があり45戸の増を見込んでいる。
- 問 下水道事業費の侵入水対策簡易流量調査業務委託料169万円の説明を。
- 答 雨水が下水道に流れている可能性があるため、西名阪沿いの片岡台2丁目マンホールの箇所調査を行う。
- 問 公共下水道事業8,900万円の説明を。
- 答 下水道ストックマネジメント計画調査・診断は、桜ヶ丘と友が丘地区を予定している。また、北上牧・新

町地区での下水道整備と、片岡台地区の不良管路の改築をする。

水道事業会計

- 問 給水分担金2,212万円の説明を。
- 答 新築住宅の増加(中筋出作30戸、緑ヶ丘10戸、下牧5戸)に伴う給水分担金である。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

上牧町国民健康保険にご加入の40歳以上

特定健診の代わりに
人間ドック等を受診される場合は

人間ドック・脳ドック費用を助成します

助成額の上限が **4万円** になりました！！

総務建設常任委員会報告

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

- 問 この条例は、時間外勤務が過度にならないように改正されたが、どのように管理するのか。
- 答 管理においては一定の職員に偏ることなく、また月45時間を超えないように管理監督をする。

上牧町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- 問 農業委員会委員の報酬以外に能率給が制定されたが、業務の内容と成果により金額は決まっているのか。
- 答 国において実績に応じた最高額が1ヶ月6,000円になっている。
- 問 条例では金額は交付金の範囲内で町長が定めるとあるが説明を求める。
- 答 各市町村で定めることになっており、農業委員会の能率給に関する規則を制定し、町長が定める金額を支給する。

上牧町森林環境基金条例の制定

- 問 課税については、東日本震災復興税終了後の2024年から開始される住民税に1,000円上乗せされるという理解でいいのか。
- 答 東日本震災復興税の期限が終了するため、(仮称)森林環境贈与税が新設され、個人住民税に上乗せして、国税として1人年額1,000円が課税され、2024年度から徴収される。



下牧地区の里山

上牧町営住宅条例の一部改正

問 解体除却を実施したことによる管理戸数を当初から戸数42から38に改正する条例だが空き家はあるのか。

答 現在は空き家になっているところはない。

上牧町道路線の認定

ささゆり台1号線から10号線、延長1225.3mを町道認定。

公の施設の指定管理者の指定

- ・指定管理者を指定する公の施設
上牧町保健福祉センター
- ・指定管理者
社会福祉法人上牧町福祉協議会会長 今中富夫
- ・期間
2019年4月1日から
2024年3月31日まで

平成30年度 一般会計補正予算(第6回)

問 プレミアム商品券システム委託料190万4,000円の事業の説明を。

答 消費税率引き上げが低所得者・子育て世帯(0～2歳児)の影響を緩和することを目的としてプレミアム付き商品券の販売を行うもので、購入者の対象は2019年度住民税非課税者、また、0～2歳児の子がいる世帯主になる。



前回のプレミアム商品券

問 保育所負担金の補正額について説明を。

答 保育士の勤続年数や賃金改善による加算アップで公定価格が上がったため。

※公定価格とは

「保育の必要量」や「施設の所在する地域」等を勘案して、教育・保育、地域型保育に必要な費用の額を内閣総理大臣が定める基準により算定した額のことです。

認定こども園、幼稚園、保育所の保育料は、この公定価格を基に地域の実情に応じて市町村が決定します。

問 自立支援給付の増額補正で、特に伸びが著しい居宅介護、共同生活援助、就労継続支援A型について説明を。

答 居宅介護については、利用人数は伸びていないが、一人当たりの利用時間・単価が増えている。要介護の軽い方が支給限度額以上にサービスが必要な場合に障がいのサービスを利用されるケースが増えているため増額補正となった。

共同生活援助については、地域移行により病院や施設におられた方が3名の増となっている。

就労継続支援A型については、ハローワークを介しての相談が多く、当初見込みより増えた。

問 まち・ひと・しごと再生モデル事業で上牧町に寄付された土地や家屋を再生する事業だが、寄付を受ける条件について説明を求め。

答 町の施策に適合し、利用できるかどうかで決める。



上牧町に寄付された家屋

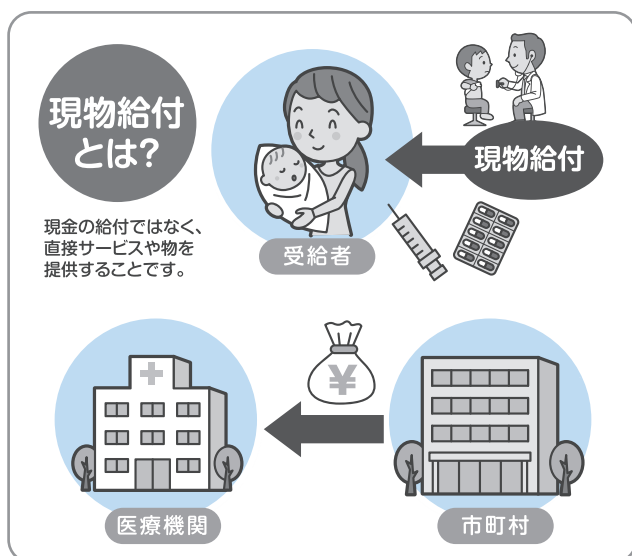
以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

文教厚生常任委員会報告

平成31年8月から、未就学児(小学校入学前の子ども)に限り、一部負担のみで窓口無料化(現物給付)を実施。

問 ひとり親家庭等医療費助成と心身障害者医療費助成の所得制限の撤廃について。

答 所得制限を撤廃している市町村も県下にはある。今後の検討課題の一つとする。



上牧町国民健康保険税条例の一部改正

問 子どもに係る均等割額を2年間の特例免除の説明を。

答 2年後に、奈良県で国民健康保険運営方針の見直しが行われる。それまでの特例である。

上牧町自殺対策計画策定委員会設置条例の制定

問 自殺対策計画の周知方法は。

答 予定として、一冊の冊子にして仕上げる。概要版も作成し、概要版は全戸配布する。

史跡上牧久渡古墳群整備基本計画策定委員会設置条例の制定

問 発掘調査を経て、平成27年に国の史跡指定が行われた。今後の整備事業の概要と事業費について。

答 平成30年度に保存計画を策定し、それをもとに31年度に整備活用計画を策定する。その後2020年度に実施計画を策定し、整備事業に取りかかる

予定である。事業費はこの段階で不明確である。国の補助率は3分の2である。

平成30年度介護保険特別会計補正予算(第4回)

問 保険者機能強化推進交付金299万9,000円について。

答 高齢者の自立支援・重度化防止等に関する市町村の様々な取組を支援するための新たな交付金である。

平成30年度水道事業会計補正予算(第3回)

問 資本的収入及び支出の負担金その他諸収入の増額について。

答 上牧町内、下牧4件、緑ヶ丘10件、北上牧4件で宅地造成が行われ水道分担金が増加した。

以上採決の結果、
全委員異議無く可決するものと決しました。

委員会に付託しなかった議案

■ 監査委員の選任

辻本 隆さん (中筋出作) 再任

■ 政治倫理審査会委員の選任

前田 春樹さん(大阪市) 再任

林 智良さん(伊丹市) 再任

西田 久美子さん(桜ヶ丘) 再任

篠崎 雄爾さん(桜ヶ丘) 再任

隅田 泰徳さん(友が丘) 再任

永井 實さん (上牧) 再任

村井 映子さん(片岡台) 新任

■ 上牧町議会傍聴規則の一部改正

「傍聴人受付簿」から「傍聴人受付票」に変更し、受付箱に入れ、個人情報を保護します。

以上採決の結果、
全議員異議無く可決しました。

平成31年3月 定例会の議決結果

○賛成 ●反対 —除斥 ×棄権 空白は欠席

(平成31年3月4日～3月20日)

議 案 名	議決結果	堀内英樹	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	吉中隆昭	長岡照美	富木つや子	服部公英	石丸典子	康村昌史	東 充 洋	辻 誠 一
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
上牧町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町森林環境基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町自殺対策計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
史跡上牧久渡古墳群整備基本計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町一般会計補正予算(第6回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度上牧町水道事業会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町下水道事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成31年度上牧町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
監査委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町政治倫理審査会委員の選任について(7件)	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議 会 日 誌

1月

- 8日 葛城地区清掃事務組合議会
- 11日 広報委員会
- 12日 町消防団出初式
- 14日 町成人式
- 18日 広報委員会
- 19日 北葛支部連合出初式
- 21日 奈良県町村議会議長会役員会研修
- 22日 //
- 24日 北葛城郡町議会議長会



2月

- 4日 北葛城郡町議会議長会定期総会
- 12日 議員懇談会
- 14日 奈良県町村議会議長会役員会
国民健康保険運営協議会
- 18日 葛城地区清掃事務組合議会
- 20日 県広域消防組合西和地区報告会
- 25日 山辺・県北西部広域環境衛生組合
議会
- 26日 静香苑環境施設組合議会
町社会福祉協議会理事会
- 28日 議会運営委員会

3月

- 4日 第4回定例会(初日) 広報委員会
- 5日 総務建設委員会
- 6日 文教厚生委員会
- 8日 予算特別委員会
- 11日 予算特別委員会
- 12日 予算特別委員会
- 13日 奈良県町村議会議長会定期総会
- 14日 一般質問(5名)
- 18日 一般質問(5名)
- 20日 第4回定例会(最終日)
議員懇談会
- 22日 町シルバー人材センター理事会
- 29日 王寺周辺広域市町村圏協議会



あなたの声を町政に！

一般質問一覧

上牧町の行政事務全般について、各議員が町側に考えを聞くのが一般質問です。

各議員は政策提言も含めて質問をすることができ、上牧町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、一般質問原稿について、それぞれ質問をした各議員自らが要約し、編集したものをそのまま掲載しています。そのため記事により一部表現が異なる場合がありますがご了承ください。

堀内 英樹	上牧町における危機管理及びリスク管理について
遠山健太郎	上牧町の将来像について
牧浦 秀俊	1.小中学校の夏休み短縮について 2.上牧町旧郵政社宅跡地について
服部 公英	1.住環境整備について 2.都市計画道路整備について 3.ゴミ関係の事業について 4.防災対策について 5.住民福祉について
石丸 典子	1.新婚世帯家賃助成について 2.人工知能(AI)の活用について 3.自衛官募集の対応について 4.大型商業施設「アピタ」の営業について
長岡 照美	1.特定健康診査・がん検診受診率向上の取り組みについて 2.県道上中下田線の道路交通の安全対策について
康村 昌史	1.安全・安心な舗装道路について 2.北葛城郡4町の合併について
富木つや子	1.中学校までの継続的な通級指導教室の取り組みについて 2.学校の給食調理室の環境整備について
竹之内 剛	1.発達障がいへの支援について 2.小・中学校の教育について 3.町内巡回バスの運行について
東 充洋	1.子ども及びお年寄りへの虐待防止について 2.上牧町国民健康保険財政基金の活用について ～2年間の特例措置について～ 3.中長期財政計画について



議会・委員会のYoutube配信について

議会は公開が原則です。

議会の傍聴は、町民を代表する議員が、公の立場で町の仕事について審議や評決を行う様子を実際に見聞きすることができ、住民の意思がいかに関与されているかを知ることができ、大変有意義なことです。

上牧町では、議場や委員会室に傍聴に行けなくとも、ホームページ上のYoutubeで、議会のライブ中継、そして録画中継で、審議の内容を確認することができます。

上牧町議会は町民の皆様に身近で開かれた議会を目指します。

←上牧町ホームページの全体です。



右側にあるこちらをクリックしてください。

上牧町にとっての「危機」 ～住民からの信頼の喪失～



堀内 英樹

内部統制、制度化を
まさかの備えに

問 民間企業にとっての危機は「倒産」、上牧町にとっての「危機」とは何か。

答 自治体は住民の信認、信頼が基本である。自治体の危機とは、逆に住民からの批判や信頼を喪失させることを自治体が行うことである。放漫な行財政運営や土地開発公社の経営破たんにより、2008～2009年度と財政健全化団体に陥ったことは、上牧町にとっての危機であった。そうならないためには、まちづくり基本条例に基づいて上牧町行政を進めていくことが求められる。

問 地方自治法改正に伴い、リスク管理の手法に「内部統制」が導入されたが、どうか。

答 「内部統制」は、失敗を減らす取り組みでもある。まちづくり基本条例の基本原則において、情報共有、参画と協同、誠実な職務遂行と町民への説明責任、検証と評価が挙げられており、これらは内部統制の大きな要素になってくる。上牧町が住民の信頼を損ね、危機に陥らないためにも、「内部統制」は必要であると考えている。それには財政指標も必須になっており、例規の一部改正も行った。法務部門の職員も増やしなが、しっかりとやれるように取り組んで行きたい。

問 単年度の予算では語ることのできない将来ビジョンとして、中長期財政計画や第5次上牧町総合計画、創生総合戦略に掲げる各事業展開がある。町政運営というのは、単年度だけでなく5年後10年後を見据え実施していかなければならないと思うが、上牧町の将来像についてどう考えているか。

答 細かな点はたくさんあるが、住民が安全に安心して暮らせてコミュニティがしっかり築かれているまちづくりが上牧町の将来像であると考えている。

そのために様々な施策を展開し、今まさにその「基礎部分」をつくっている段階であると思っている。

今後、5年後10年後に向けて施策のレベルアップを図り、持続的継続的に、議会とも議論を交わしながら

「上牧町は決して消滅しない」
という強い使命をもって町政運営にあたる決意である。



10年後の上牧町の 将来像は？

町長には
将来を見据えた
町政運営を！



遠山 健太郎

児童・生徒の 夏休み短縮について



牧浦 秀俊

学力の底上げも考える

問 大阪市の全体、また隣の広陵町では、1年前から夏休みの短縮を行っています。これに対して、保護者の間では学力の取得に大きな差が生じているのではないかと不安の声が聞こえます。

また、学力の指標として引き合いに出される全国学力テストの成績は、奈良県は全国平均を下回っている憂うべき状況である。

この夏休みの短縮は、学力を底上げすることにもなり、また、授業時間数確保のための一筋の光明だと思うが、教育委員会としてはどう考えていますか。

答 平成31年2月22日の教育委員会で、おおむねの一定の方向を決定させていただきました。上牧町の子どもたちにとって何が一番いいのかということで、熟議を重ね方向づけをさせていただきました。子どもファーストのために、保護者や教員が一体となって子供を支えるという点でも、夏休みの件は、前倒しの方向で、意見はまとまっております。



問 学校給食のアレルギー対応は？

答 学校給食における食物アレルギー対応ガイドラインを設けており、対象児童については学校、保護者、給食主任と面談を行いその子に合った給食を提供しています。

問 アレルギーのある子どもの場合はどのようにすればいいのか

答 まずは申請と言うことになりますが入学前に学校から入学予定者全員にアレルギーはありませんかと言うことを問い合わせて、学校の関係者と協議して対応を考えています。

問 現在の所は何人の児童に、どのような対応をしているのか

答 小中学校合わせて41名の児童生徒が何らかのアレルギーがあり除去食と言いまして、部分的に例えば甲殻類、卵等その部分除きまして対応をしています。あと7名につきましては、アナフィラキシー反応によって命にかかわるものですので給食対応はできないので医師と相談の上行っていない。

教育環境について

学校給食の安全対策を



服部 公英

若者定住支援について



石丸 典子

新婚世帯へ家賃補助を

問 「上牧町人口ビジョン、創生総合戦略」では、基本目標の一つに、若者世帯が住みやすい住環境を整備する、とされています。具体策として、空き家活用・UR住宅への定住促進があげられています。

町では現在、「出会い結婚応援事業」が行われています。この事業をさらに進め、上牧町で若い世帯が住んでいただけるよう、新婚世帯が上牧町の民間賃貸住宅に住めば、一定の条件で家賃を助成する施策を提案します。税金が見込め、上牧町に魅力を感じてもらえれば、定住につながります。

答 町では、個々の子育て支援策で上牧町に住んでいただける努力をしています。また、空き家の利活用を研究しており、若者への支援策を検討しています。家賃助成については、財源的に難しいので今のところできません。



問 幅員が狭く車の往来が激しい中筋出作・松里園地域に隣接する県道上中下田線(香芝市上中～下田東)の都市計画道路はいつ完成するのか。

答 道路延長1186m・幅員が14m・16mの都市計画道路として計画されている。工事の完成時期はまだ聞いてない状況である。

問 この県道は接触事故も発生し、大変危険な道路である。町内の多くの住民が往来している。車との接触を避ける逃げ道に側溝蓋が必要と考えるがどうか。

答 香芝市の側溝の所有者宅を訪問し、土地の寄付を承諾して頂けたので10メートルの側溝蓋工事を平成31年度の県予算で行う。

問 県道上中下田線の安全対策を見届けていただきたいがどうか。

答 現状における安全対策は大変必要と考える。県道上中下田線の早期完成、早期工事の着手を引き要望していく。



車との接触を避ける10mの側溝蓋で安全対策を

側溝蓋工事の
一日も早い完了を!



長岡 照美

北葛城郡4町の合併を望む



康村 昌史

奈良モデルの欠点を考える

問 奈良県の荒井知事が提唱する「奈良モデル」は、地域の活力の維持・向上や持続可能で効率的な行財政運営をめざす市町村同士または奈良県と市町村の連携、協働のしくみであり「県と市町村の広域連携の先進モデル」と理解している。しかし、奈良県においては平成の市町村合併が進まなかったが確実に到来する超少子高齢化と人口減少に対応するため、北葛城郡4町(王寺、河合、広陵、上牧)の合併は避けられないと思うが、町当局はどのように考えているのか。

答 奈良県で平成の市町村合併が進まなかった理由は各市町村の自立心が高いからと思う。

問 日本創成会議の報告によると上牧町・河合町も消滅可能性都市に分類されている。2025年及び2040年問題等も抱えており、行政サービス維持のため北葛城郡4町の合併は避けられないのではないかと。

答 人口減少は避けられないが、現在上牧町は子育て支援や高齢者の対策等さまざまな施策を行なっている。すぐに結果は出ないが継続してやっていく。人口が減少するので合併と言う考えではなく、地域には歴史、文化があり安全で安心なコミュニティを住民が望めば合併をする必要はないと思う。また、合併は住民が決めるものであり、そういった動きがあれば行政は対応する。

問 現在、小学校の通級指導「ペガサス教室」では、児童や生徒に対し、必要な支援や特別な指導が行なわれています。ただ、これまで小学校で通級指導を受けていた生徒が続けて中学校で支援を受ける体制になっていないのが現状です。この事は、これまで通級指導を受けていた生徒や保護者にとっては、中学校に入学してから、学校に理解してもらえるかというような不安や進路などの悩みにつながっています。発達を見守り、成長を支援する教育として、療育・小学・中学と継続的な「通級指導教室」の体制が必要では。

答 保護者から将来の不安や心配の声が上がっているのは事実である。そうした状況を受けて教育委員会においても、中学校の「通級指導教室」の設置に向け、町長の前向きな思いや具体策などを県の教育長に伝えた。県から一定の評価も得た。町として、就学前から中学卒業まで一連的に責任を持って取組む事はたいへん大事である。31年度は研究、準備期間とし、県とも連携しながらできるだけ早期の設置に向け取組む。

療育・小学・中学と継続的な支援体制が必要



中学校まで「通級指導教室」を

富木 つや子

人間力を育む受動的授業から 参加型授業へ転換!



竹之内 剛

アクティブ・ラーニングで 楽しい授業

問 アクティブ・ラーニングの取り組みの進捗とそれを実現する教員の教育や教員への負担軽減対策について聞きたい。

答 教員による授業研究の実施や教員による相互指導等の授業改善を継続的に取り組んでいるところ。新たな取り組みではないので、教員の負担にはならないと考えている。

問 食育、水育等企業の活用もあるようであるが、本取り組みに対する町としての考えはどのようなものか。

答 本町の学校ではアクティブ・ラーニングは児童生徒が主体的に参加し、子どもたちが深く考えながら互いに課題を解決する能力の育成が重要である。現在、まち探検、調べ学習、椅子の配置、プレゼンテーション等取り組んでいる。また、小学校の外国語・英語教育のために町単費で教員を配置している。受験の学力と個々の個別的な学力を総合的に統合することが人間力になり、問題解決が根幹と考え取り組んでいる。



問 国民健康保険財政調整基金の活用で子育て応援について説明を求めます。

答 子育て支援策の一環として、国民健康保険の基金を活用し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。国民健康保険の均等割は、他の医療保険制度にはない加入者一人ひとりに均等にかかるものであり、家族に子供が増えると保険税の負担が重くなる仕組みになっています。町は、今後、平成31、32年度の2ヶ年、子どもに係る均等割を軽減し、子ども世帯を応援してまいります。

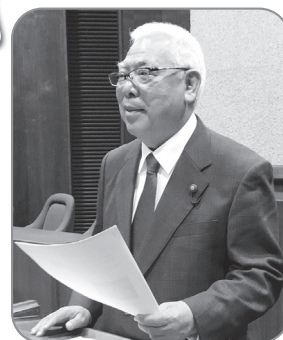
問 なぜ、2ヶ年だけの施策なのか。

答 2021年度に奈良県が国民健康保険の見直しが行なわれるため、継続できるか不透明であるため、2ヶ年の特別措置にしました。

問 12月議会で『国民健康保険税の軽減を求める意見書』を反対多数で上牧町議会は『否決』しました。しかし、上牧町は、住民の願いを実現させる施策を講じられる事について、大いに評価いたします。

答 基金を活用して、人間ドック等の助成や特定健診の無料化も行い、受診率の向上に役立ててまいります。

国民健康保険で 子育て世帯を応援



東 充洋

子どもの均等割額が
軽減されます

わかりやすい

読みやすい

親しみやすい

みなさんに関心を持たれる 議会だよりを目指して



広報委員会

議会だよりは、年間4回開催される定例会毎に発行され、編集は議員7人で構成する「広報委員会」が行っています。記事には定例議会の内容を検討して見やすくまとめたものと、その時にお知らせしたい特集等が掲載されます。表紙の写真は委員が町内の行事や季節の風景等を撮ったものから選択して載せます。

*この4年間で、議会だよりの大幅なリニューアルに取り組んできました。「わかりやすい」「読みやすい」「親しみやすい」をコンセプトに縦書きから横書きへの変更、表紙・裏のカラー刷り、内容欄の2色刷り等を開始しました。

議会だより発行までの流れ

第1回広報委員会(全体像の状況と担当決定)



本会議



各委員にて記事作成



…… 一般質問議員 原稿作成

第2回広報委員会(記事内容のチェック等)



第3回広報委員会(全体バランスの校正チェック)



シルバー人材センターへ納品



町内全戸配布(本会議の翌月末に配布)

～本会議終了後から約三週間で発行されます～

辻 誠一前議長が表彰されました

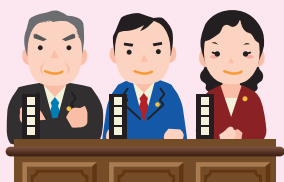


去る2月6日全国町村議会議長会定期総会において、辻誠一前議長が町村議会議員として、地域の振興発展に貢献された功績により表彰を受けました。

【前議長のコメント】

この度は、議会・行政・住民のみなさまに支えられて、地域に貢献することができ、表彰を受けたことを有難いことであると実感しております。

5月の臨時議会は 5月中旬開催予定

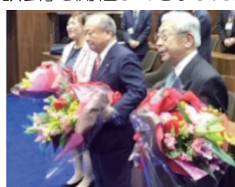


編集後記

お問い合わせ ☎ 0745-76-1001
fax 0745-76-1003

▼議会では住民の意見を身近なところでお聴きするために「みなさんと語り合う座談会」を開催してきました。

▼広報委員会では、議会だよりのリニューアル等の大きな役割を担うことができました。▼長年において議会で功績を挙げられてきた3名の議員がこの度ご勇退されました。



広報委員会

委員長	竹之内 剛
副委員長	遠山健太郎
委員	牧浦 秀俊
委員	長岡 照美
委員	服部 公英
委員	石丸 典子
委員	康村 昌史